

28年度予算要望について

私が所属する議員団は、地方分権改革を常に念頭に置きながら、今年4月の統一地方選挙において、府民の皆さんの一人ひとりの想い、一つ一つの課題に真剣に向き合っていくとして、「民主党京都府議会議員団マニフェスト2015」を掲げ、「子育て支援や雇用の安定などの人口減少社会への対応」、「府内のどこかで最善・最適医療が受けられる体制整備や京都式地域包括ケアの充実などの医療・介護・福祉の強化」をはじめとする主要な6項目に取り組んでいくことを示させて頂きました。ここに平成28年度(2016年度)当初予算の編成にあたり、私たちが掲げたマニファストを踏まえ、京都府のさらなる発展と府民生活の安心・安全を守り、新たな価値観も持った豊かさの追求に向けて、喫緊の課題や中長期的な視点に立った議員団としての要望・提言を示し、積極的かつ迅速な具体化を図れるように山田知事に対して強く申し入れました。

「平成28年(2016年)度 京都府予算に関する要望・提言」として、重要・緊急課題等について107項目、要望項目について65項目、また、各地域での重点要望項目について20項目を申し入れています。

下記に示す項目は、京都府南部に関する重点要望項目です。

●南部地域の道路整備について

- ①主要地域道宇治淀線の拡幅改良については、交通混雑の解消をはかるための早期の改修に努めること
- ②国道163号線の道路改良事業の促進
- ③主要地方道上狛城陽線の道路整備の早期整備を促進すること
- ④南部活性化の骨格となる新名神高速道路のスマートインターチェンジの整備促進、同インターチェンジ直近に位置する府立木津川公園北側ゾーンの早期整備
- ⑤防災上課題がある国道24号線のバイパスとなる宇治木津線、及び新名神高速道路のアクセス道路となる国道307号線、主要地方道宇治木屋線(犬打峠トンネル化)、都市計画道路宇治田原山手線の整備促進

- ⑥主要地方道八幡田辺線の早期整備
- 宇治市域から城陽市域に渡る近鉄京都線の連続立体交差化の早期実現と対象駅前の整備
- 古川流域住宅地の床上浸水を解消するための早期河川改修と総合的な治水対策の促進
- 阪急電鉄京都線の連絡立体交差化の早期実現に向けて関係機関と連携を図ること
- 大谷川及び防賀川の総合的な治水対策(内水対策等)の促進
- 男山地域再生に向けた分譲マンションの建替え計画に伴う優良建築物等整備補助事業補助要項の早期制定
- 世界文化遺産登録を目指す「宇治茶生産の景観」を始めとする南部観光資源を有効に活用した広域観光連携事業の推進とインバウンド対策の強化(交通ネットワークの構築等)

[第2回] 有権者の声

Voters of voice 井手町 窪田 貴さん

井手町発展のためにご尽力を!!

南山城を流れる木津川を挟んで、左岸の京田辺市や精華町などは、年々発展するなかで、人口増加をたどっています。それに比し、木津川右岸の井手町は年々人口減少の道をたどっているのが現状です。

そこで、井手町の今後の発展と人口増加へ向けての対策が必要です。そのためには二つの対策が必要であり、早期に実現していただければ、目標とする井手町の発展と人口増加が実現できると確信しています。

その一つ目は、国道307号線付替え工事に伴う白坂開発です。これについては、現在、城陽市と井手町が共同開発しているところであり、工場誘致をはじめ、宅地開発を進めているところです。

また二つ目は、木津川市から進められている、国道24号線バイパス路線工事です。これについては、井手町においても京都府から要請されている特別支援学校を設置する予定があり、これとあいまって国道24号線バイパス路線を早期決定し、白坂開発と国道24号線バイパス路線の早期実現との相乗効果で、利便性を高め、土地の有効活用から豊かな自然を生かした地域の活性化に取り組むことが人口増加へつながる道だと思えます。

つきましては、この二つの事業が早期に実現でき、そして豊かな自然を生かした地域活性化が出来るよう、ご尽力の程、北川先生をお願いいたします。



北川たかしの感想

本会議での初めての質問は、準備から少し緊張しましたが、無事終わることができました。次回の質問は、6月定例議会での代表質問の予定です。ご意見・ご要望がございましたら、ぜひお知らせください。京都放送で1時間半テレビ中継されます。まだまだ先ですが、ぜひご覧ください。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



北川たかし事務所に、お気軽にお立ち寄りください

皆さまのご意見・ご要望など聞かせてください。

北川たかし事務所 Takashi Kitagawa office

〒610-0313 京都府京田辺市三山木上谷浦19-1 マンション竹長1F(有)竹長内
TEL.0774-62-7889 FAX.020-4664-2587

office@kitagawatakashi.net http://www.kitagawatakashi.net

京都府議会議員 <京田辺市・綴喜郡 選出> Takashi Kitagawa Activities Report

北川たかし 府政活動レポート

[きたがわ 剛司]

第2号
2016.02



プロフィール

京田辺市三山木で生まれる/奈良育英高校 卒/大阪電気通信大学 工学部 卒/神戸大学大学院 経営学研究科 修了/(株)富士通 神戸エンジニアリング 入社/(株)Office Ties 代表取締役 就任【現在(有)竹長】/流通科学大学 非常勤講師 ラグビー部監督/全日農 京田辺市支部 委員長/関西大学 非常勤講師/NPO法人 幸せイキキ子ども教育研究所副代表理事/京都府議会議員【資格】教育カウンセラー/産業カウンセラー/米国CTIコーチング(CPCC)など【家族】母、妻、子ども2人【趣味】スキューバダイビング/ラグビー

発行 北川剛司 〒610-0313 京都府京田辺市三山木上谷浦19-1 マンション竹長1F(有)竹長内 TEL.0774-62-7889 FAX.020-4664-2587

Greeting 新年の抱負

寒い日が続いておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様から多くのご支援をいただき、京都府議会議員として活動し、まもなく1年が経とうとしています。2015年度は、議員活動を開始し、5ヶ月目にして本会議での一般質問をさせて頂きました。本年度(2016年)は、本会議にて代表質問、そして、一般質問をさせて頂きたく予定です。まだまだ、議員としての勉強の日々が続きますが、府政に対し府民の皆さんの視点に立った意見を言えるように頑張っていきます。

喫緊の課題、短期的対策への取組みとともに、中長期

的な視点でも取り組みたいと思います。10年、20年先を見据え、年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)の減少でさらに人口構造が変化中、経済や社会基盤も大きく変化することを踏まえた視点をもって、対応すべき様々な課題にも、しっかりと取り組んでいきます。

教育に関する環境整備はもとより、京田辺市内にある府が所有する60haの土地利用、井手町、宇治田原町の人口減少対策、道路環境の整備などにも積極的に取り組みたいと思います。

これからも、府民の皆さんの視点に立って、府民の皆さんの声を府政に反映させるよう全力を尽くしますので、ご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

政治の原点に戻り

人民の、人民による、
人民のための政治

government of the people,
by the people, for the people

を志します。

京都府議会議員 北川剛司



北川たかし 議会報告

前回の報告以降、9月定例会、12月定例会が終了しました。2016年2月定例会が、2月17日～3月23日までの会期36日間で開催されます。9月定例会にて、約40分間の一般質問を行いましたので、内容の報告をいたします。

1 学力診断テストの結果等について

府教育委員会は、本年8月に実施された全国学力・学習状況調査と本府が本年4月に実施した学力診断テストの結果を公表したが、その結果等に関し、次の諸点について、所見を伺いました。

質問 北川 ①全国学力・学習状況調査の結果については、府全体では全国上位に位置している一方で、教育部局に公表した学力診断テストの結果を見ると、山城教育局管内の結果が最も低い状況にあるが、その状況をどのように認識しているのか。また、山城地域における児童生徒の学力向上にどのように取り組んでいくのか。

②学力診断テストと同時に実施されたアンケート調査では、「家庭学習の確立」が前年度に比べて悪くなっているが、これまで行ってきた家庭学習への対策をどのように分析し、今後どのように改善していくのか。

回答 府教育長 学力の定着状況をきめ細かく把握した上で、児童生徒の学力状況に応じた、学力向上対策を進めているところです。山城教育局全体では、正答率が教育局別に見た時に最も低い数値となっており、この結果を各学校でしっかりと分析し、学校や地域の課題を的確に踏まえた学力向上の取組を市町村教育委員会、教育局も一体となって



進めることが重要であると認識しています。指導主事を各学校に派遣し、結果の分析方法についての指導や課題を踏まえた支援を実施します。まなび・生活アドバイザーによる家庭への支援を通じた生活・学習習慣の確立、学校や地域での補充学習等の取組を充実していく。

質問 北川 児童生徒の学力向上に向けた取組については、教員が子供の長所を常に認識し、その良さを褒め、子供を認める姿勢を持つことが非常に重要であると考えています。学力診断テストにおける調査結果では、約2割の児童生徒が

「先生から認めてもらっていない」と感じていることから、改善に向けて取り組むべきである。

回答 府教育長 一人一人の児童生徒の良さや努力を評価し、子供にしっかりとそれが伝えられるよう、児童生徒理解を深める研修を一層充実するなど、教員の資質能力の向上に引続き努める。こうした取組によりまして、児童生徒の自己肯定感や学習意欲を高め、京都の子供達の学力向上につなげます。

2 京都府南部の道路整備について

京都府南部の道路環境の整備について質問させて頂きました。特に、宇治田原町の山手線、和束町の宇治木屋線に対する環境、震災対策、利便性について質問を行っています。

質問 北川 「お茶の京都」を発展させるためには、宇治田原町と和束町の道路整備がキーポイントとなる。宇治田原山手線及び府道宇治木屋線の犬打峠の未整備区間の整備が早急に望まれ、この道路整備により、観光としての効果や経済効果、災害時における防災対策の効果が十分見込まれると考えるが、整備のビジョンについて、どのように考えているのか、所見を伺いたい。

回答 建設部長 現在事業中の奥山田バイパスの進捗状況も見ながら、鋭意検討を進めていきます。宇治木屋線に関しては、犬打峠の事業実施にあたっては、延長約3kmのトンネル整備が必要であることから、昨年度からルートを検討やコスト削減対策を進めて事業化に向けた検討を図っていきます。



3 精神科医療体制について

京都府南部の精神科医療体制について質問しました。

質問 北川 社会の現象として、また、府保健医療計画においても、うつ病などの精神疾患患者の増加が認識されているが、京都市以外の北部、南部地域においては、対応できる医療施設が足りない現状にある。本府として、今後の精神科緊急医療システムの拡充や他府県との連携等のビジョンについて、どのように考えられているのか、知事の所見を伺いたい。

回答 知事 特に南部の場合においては、木津川市は奈良県と接しているわけですから、府県境を超えた体制の構築が重要になってくるという点をご指摘のとおりでありまして、今まで、輪番制、一般病院と精神科病院の連携と形を整えてまいりましたので、こうした状況を踏まえて、府県境を超えた連携体制のあり方について、検討を進めていきたい。

Takashi Kitagawa inspection report

北川たかし 視察報告

関西電力株式会社高浜発電所視察

先日再稼働が決まった福井県高浜町にある高浜発電所を視察しました。福井県の原子力発電所の事故を踏まえて原子力発電所の設備、並びに安全性について視察を実施しています。

福井県の若狭湾沿岸には、関西電力(美浜、高浜、大飯)11基に加え、日本原子力発電(株)の2基、日本原子力研究開発機構の1基の原子力発電所があります。高浜発電所の安全性向上に向けた取組について、ハード面において、地震対策として基準地震動の見直し、地滑り対策、津波対策(防潮堤の設置など)、内部水漏れ対策、火災対策、電力の確保、冷却手段確保、格納容器内水素対策など様々な対策が講じられていました。また、ソフト面においても訓練などの対策を行っているよう

です。これからの対策費用は、1800億円にも及ぶとのこと。総括原価方式なので、これらの費用は全て電力料金に加算されるでしょう。これらは3、4号機に対するものであり、1、2号機にも安全対策を実施すると追加で1500億円かかるそうです。また、福井県においては、14基の原子力発電施設があります。安全性、経済性などを鑑みて再稼働に関して慎重に判断する必要があると思います。また、京都府においても早急に広域避難計画を明確に策定し、大規模避難訓練を行なう必要があると思います。



東北被災地(福島県、宮城県など)視察

東北地方太平洋沖地震は、2011年(平成23年)3月11日に太平洋三陸沖を震源として発生しました。あれから、5年が経とうとしています。今回議員になる前を含め、2回目の被災地の視察です。前回視察した時は、発生から2年目でした。震災から4年以上が経過し、被災地の報道も少なくなっている中、未だ大勢の方が仮設住宅での生活を余儀なくされております。また、石巻などの港に関しては、徐々に復興してきています。しかし、港の周りは未だ工場などの施設が少ない状態です。そして、復興住宅ですが、基本的には盛り土された土地には建設できません。切土の土地にしか建設できないのです。そうすると建設できる土地が制限されます。被災地全体として、仙台市などの大きな市街地は、震災の面影が少なくなっています。しかし、4年以上経っていても海岸沿い



においては、瓦礫は撤去されていますが何も無い状態です。安全性の関係で、建物が建てられない。また、建設可能な地域でも気持的に戻れないと聞いています。私は、約21年前の阪神大震災を神戸市東灘で経験していますので、震災に遭われた方々の気持ちは非常に理解できるつもりです。福島原発の影響もあると思いますが、復興をもっと進める必要があると思います。

小中一貫教育、中高一貫教育のあり方について

川崎市立はるひ野小中学校、東京都立小石川中等教育学校に文化教育委員会として視察しました。川崎市立はるひ野小中学校は、小中一貫教育です。小学生と中学生が体育祭、文化祭とも共同で開催されているそうです。施設も開放的な学校施設になっています。中学生が小学生の世話をするなど、人間性を育む教育をされていました。その教育に対比的なのは、東京都立小石川中等教育学校です。ここでは、中高一貫教育です。SSH、SGHなど取得され1学年150名で、エリート教育を目的とした教育を実施されています。両者の教育は互いに素晴らしい考え方、それに伴う施設も素晴らしいものがありました。また、横浜市立サイエンスフロンティア高等学校も視察させていただきましたが、ここもサイエンスに対するエリート教育を主眼に置いた学校です。大学並みの教育、施設で、日本で一番と言っているほどだと思います。これらのことを鑑みて、教育の



あり方を考えると、私は人間性を育む教育がまず必要だと思います。人間性が根底にあり、その上で応用的な学問が備わると思うからです。この課題は、大いに議論し、京都府の教育に活かし子供達にとってより良い環境を整える必要があると思います。そのためには、府議会議員として府に対して働きかけたいと思います。